

# 読んでみよう 解いてみよう せん太のワークシート

岡山県立中山中の生徒がインターネットやスマートフォンを巡るトラブルについて学べるかるたを作りました。記事を読み、質問に答えましょう。

## 依存症や詐欺被害…

# スマホトラブル学んで

岡山市立中山中（同市北区辛川市場）は、インターネットやスマートフォンを巡るトラブルなどについて、遊びの中で学んでもらおうと「スマホかるた」を作った。県警への「取材」を基に、生徒たち

### 子ども

が読み札の標語と絵札の図柄を考案。スマホ利用の低年齢化を踏まえて、学区内の全4小学校にも配布した。かるた作りは、生徒会役員が中心となって企画。インターネットの長時間利用による依存症や視力低下といった健康への影響▽会員制交流サイ

## 岡山・中山中生徒「かるた」作成

ト（SNS）を通じて知り合った人とのトラブル▽架空請求などの詐欺被害などを題材にした。作成に当たって、子どもが巻き込まれやすい犯罪の特徴などを県警少年課に教わり、内容をまとめたプリントを生徒やPTAに配って標語を募集。絵札は美術部員が手描きしたデザインをパソコン部員がレイアウトして仕上げた。読み札と絵札（ともに縦9枚、横5・5枚）は、それぞれ44枚。へかなしみると後悔のこる「依存症」の読み札には机の上で教科書を開いたままスマホを触る手のアップを、へんしつしゃ SNS

## 学区内全4小に配布



では「ウソの顔」には顔が黒塗り的人物と少女がチャットでやり取りする様子を絵札に描いている。250セット作り、1〜3年の全18クラスに3セットずつ渡した。今後、生徒たちに活用してもらう方針。学区内の小学校では、7月22日の平津（同檜津）を皮切りに、中山（同一宮）、桃丘（上から）インターネットのトラブルや依存症などを題材に中山中の生徒が作った「スマホかるた」▼平津小で行われたかるたの贈呈式で、スライドに映し出された絵札を当てる児童ら（7月22日）

（同芳賀）、馬屋下（同松尾）に届けた。このうち、平津小で開かれた贈呈式には同中生徒会員の6人、県警少年課のナウイルスの感染予防のため、かるたはせず、生徒がスライドに絵札を映し出した。みんなに身近な問題と意識してもらえたら」と話した。（勝瀬晴代）

同小6年の山田壮雅君（12）は「普段使うゲームにもネットが知らないと交流できる機能があるので気を付けたい」、中山中生徒会長の3年村田希望さん（14）は「同年代も詐欺など被害に遭っている」と知っ

8月3日付、山陽新聞朝刊全頁版

### Q1 ★★☆☆

小学校に「スマホかるた」を配ったのはなぜでしょうか。リード（第1段落）を参考に答えましょう。

### Q2 ★★☆☆

中山中の生徒は、かるたをどのようにして作りましたか。第3段落に注目してまとめましょう。

### Q3 ★★☆☆

第2段落にあるスマホなどを巡るトラブルをどうやって防ぐか、周りの人と話し合しましょう。

★の数は問題の難易度を表しています。

遊びながら、スマホ利用の注意点が分かるね

